

## 令和4年度事業報告

公益財団法人国際協和奨学会が令和4年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)において実施いたしました事業につきまして、下記の通りご報告申し上げます。

### 1 公益目的事業

#### (1) 私費外国人留学生及び日本人海外留学生(以下、「留学生」と略します)に対する奨学金の支給

令和4年度(以下、「昨年度」と略します)において奨学金を支給した留学生は、12名に対して総額15,600,000円を支給しました。(詳細 別紙1)

#### (2) 学業報告について

昨年度において奨学金を支給した留学生から提出のあった学業の実績報告は別紙2の通りです。

#### (3) 令和5年度奨学生(第38回生)の採用について

令和5年度(以下、「本年度」と略します)より新たに奨学金を支給する留学生は、選考委員会において公正かつ厳正な審議及び第39回理事会の承認を経て、第38回生として外国人留学生5名及び日本人海外留学生1名が採用されました。なお、日本人海外留学生は、贈呈式終了後に、留学予定の大学に不合格となったので、取消となっております。

したがって、本年度において奨学金を支給する留学生は第37回生と合わせて10名であります。(詳細 別紙3)

#### (4) 留学生に対する生活指導及び助言等

① 奨学金を支給する留学生に対しては、従来通り、毎月の奨学金支給日における面談等を通して、適宜、指導及び助言等を行いました。ただし、コロナ過の影響で、9月分については、やむを得ず銀行振込とした。

#### ② 研修会・オリエンテーション実施

昨年度は、新型コロナ過の影響もありましたが、6月に現役奨学生に加えOB奨学生及び関係者を集めて「ほたるの夕べ」開催、10月には貸切バスをチャーターし新型コロナ感染対策を施し、1泊2日の信州研修旅行を開催した。令和5年2月22日の学業報告会は、会場を星稜会館として、室内の換気を十分にしたうえで3密を避け、プロジェクターを使用し奨学生から詳細な報告がなされた。学業報告の後は、36回生の送別会を飲食なしで行い、短い時間ではあったが奨学生間の懇親を深める機会も設けた。

#### (5) 資産の運用

基本財産(296百万円)の運用は円安の影響により、本年度は15,148,792円の運用実績となりました。前年比181%。

以上